



な っ と く ん の

山口県立山口博物館 学校地域連携担当

2018年 3月 1日 No.222

なるほどなっとくニュース

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。

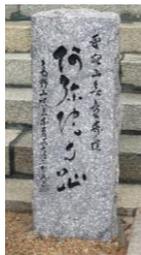
CM Community Museum 地域の宝 学校の宝

げんべいかっせん ぼくまつ めいじ れきし ぶたい だんのうら
源平合戦から幕末・明治 歴史の舞台 壇ノ浦

でまえじゅぎょう おとす しものせきしりつようじしやうがっこう ちか あかまじんぐう りゆうくうじやう おも
出前授業で訪れた下関市立養治小学校の近くに、赤間神宮があります。竜宮城を思わせる
あか もん すいてんもん だんのうら たたか おさな な あんとくてんのう まつ じんじや
赤い門（水天門）があり、壇ノ浦の戦いで、幼くして亡くなった安徳天皇を祀る神社として
ゆうめい けいだい へいけいちもん はか ななもりづか みみ ほうち もくそう あんち ほうちどう
有名です。境内には、平家一門の墓（七盛塚）や耳なし芳一の木像を安置する芳一堂があります。
もとは、阿弥陀寺というお寺で、安徳天皇御影堂が建てられていました。幕末には、高杉晋作（187
号参照）が結成した奇兵隊の陣所になりました。赤間神宮の隣には、日清戦争の講和会議が行われ、
しものせきじやうやく むす しゅんぱんろう あかまじんぐう となり にっしんせんそう こうわかいぎ おこな
下関条約が結ばれた春帆楼があります。清の代表は李鴻章、日本の代表は伊藤博文（210
号参照）でした。当時の様子を伝える日清講和記念館が建てられています。また、春帆楼は、ふぐ
りょうり いとうひろふみ かいきん さいしょ きよか みせ ゆうめい
料理が、伊藤博文によって解禁され、最初に許可された店として有名です。



赤間神宮（水天門）



阿弥陀寺跡



日清講話談判場



日清講和記念館



赤間神宮

かんもん じんどう い ぐちちか がわこうえん ちょうしゅうほう
関門トンネル人道入り口近くの「みもすそ川公園」に長州砲のレプリカがあります。ここでは、
だんのうらほうだいあと ぼくまつ ちょうしゅうはん がいこくせん う ほうら じょうい そな かいがん おお ほうだい きす
壇ノ浦砲台跡で、幕末に長州藩は、外国船を打ち払う攘夷に備えて、海岸に多くの砲台を築き
ました。1863年攘夷の決行として、長州藩は関門海峡を通過する外国船への砲撃を実施しま
ねんじょうい けいこう ちょうしゅうはん かんもんかいきやう つうか がいこくせん ほうげき じっし
した。その報復として、翌年、アメリカ・イギリス・フランス・オランダの四国連合艦隊が下関の砲台
ほうぶく よくねん しこくれんごうかんたい しものせき ほうだい
を攻撃しました。戦力の大きな違いにより砲台は占領され、長州藩は降伏します。その後の
こうげき せんりよく おお ちが ほうだい せんりよう ちょうしゅうはん こうぶく こ
外国との交渉には、高杉晋作が当たっています。この事件をきっかけに、晋作の拳兵を経て、
ちょうしゅうはん じょうい とうばく ほうしん てんかん
長州藩は攘夷から倒幕へと方針を大きく転換していくこととなります。 参考文献『下関市史』



壇ノ浦砲台跡



前田砲台跡（国指定史跡）



龜山砲台跡（龜山八幡宮）



馬関砲台写真（山口県文書館所蔵）



山口博物館では、高杉晋作や奇兵隊に関する資料を展示しています。ぜひ、ご覧ください。